

パシフィック通信



Vol. 132

夏本番号

2015年7月22日 発行

TOPICS

- 覚悟があれば、努力が習慣になる :1
- 小学生 考えるっておもしろい! :2
- 中学生 夏前を制する者が受験を制する:2
- 高校生 2学期までの内容を最低2回復習をしよう! :2
- 理科実験教室の様子 :3
- 講師のおすすめ本紹介 :3
- 今月のカレンダー :4

覚悟があれば 努力が習慣になる。

【先月の復習】
模試は「当日復習」
「後日やり直し」

阪神の金本選手が、最も誇りにしている記録は、「併殺しない記録（1002打席連続無併殺打、日本記録）」なのだそうです。連続試合フルイニング出場（1492試合、世界記録）でも、ホームラン歴代10位（476本）でもなく、「併殺しない記録」が彼の中での一番なのです。

併殺にならなかったのは、必ず全速力で走り続けた結果です。だから、どんなに大勝ちしているときでも、どんなに大負けしているときでも、ボテボテの内野ゴロでどうせアウトになりそうなときでも、とにかく毎回全速力。

笑われようが、相手から「こんなに点差が開いているときに全速力で走らなくても・・・」と言われようが、とにかく毎回全速力。

そして、これこそが金本選手の努力の定義に当てはまるのです。「モチベーションが上がっているとき。『よーしやるぞ!』と思っているとき。こういう時は、だれでも頑張れる。しかし、それはただやりたいこと（よーしやるぞ!の中身）をやっているだけなので、特に頑張っている、努力していることにはならない。

しかし、今日はしんどい。どうしてもやる気が起きない。体がつらい。そういう時に練習（=仕事）することこそ努力なのだ」と。

よく考えてみれば、大人になって仕事を始めてみればわかるのですが、どんなにやる気が起きない時も、体や心がつらい日でも、しんどくてしんどくてたまらない日でも、働きに出るのが当然になります。そして、それなりの結果を出さなくてはなりません。それがお仕事だからです。

小学生、中学生、高校生にとって、勉強はお仕事です。勉強だけが全てではもちろんないけれども、勉強は大仕事なお仕事としてやり続けていくものです。

「よし、がんばるぞ!」から進化すると、「今日も普通に頑張りますか。」になるわけですね。

では、肩の力を抜いて、「今日も普通にがんばりましょう。」（くじら）



1月寒東小学校にて、「やる気スイッチの入れ方」講演会(7/3)

【今月の言葉】

覚悟があれば、努力が習慣になる。



親子で楽しむ!!
「コミュニケーション教育」

1から1000まで全部足すといくつ?

ロゴ提供: おやこ新聞



【親が子へヒントを出す時は…】

1から10	⇒	55	1から100	⇒	5050
1から1000	⇒	500500	1から10000	⇒	50005000

おもしろいね。

答え) 500500

中学生 夏前を制する者が受験を制する

いよいよ夏も本番。札幌でも連日のように30度を超え、熱中症にも気を付けたい日が続いています。世間一般では「夏(夏期講習)を制する者が受験を制する」という言葉が広く浸透していますが、受験業界では「夏前を制する者が受験を制する」という言葉をよく使います。つまり、夏を制するために夏までに基礎をしっかりと固める、という意味です。

ここでいう「夏まで」というのは、3年生の4月から7月までという意味では決してありません。「夏まで」の本来の意味は、中学校に入ってから3年生になるまで、さらに言えば、小学校入学時から中学3年生になるまでということです。中学1、2年生は世間で受験シーズンに突入しても「来年は勉強しなきゃいけないのかぁ」と考えがちですが、「今から少しずつ勉強しないと大変だな」と考え、勉強をしっかりとっておけば、受験生になったときにどれだけ楽になるかは想像に難くありません。

受験生がガツガツ勉強するのはもちろん、1、2年生はガツガツ勉強する中学3年生や大学受験生の姿を見て、大いに影響を受けながら勉強を続けて下さい。小学生から大学受験生までが同じ教室で勉強する空間は多くありません。将来の自分の姿を先輩たちに投影し、そして、先輩たちから学び、未来を変えるために今の自分を変えていこうという気持ちで勉強しましょう。ぜひこの貴重な空間を、二学期以降の成績アップ・志望校合格を実現する空間として利用してください。(白土亮光)



高校生 2学期までの内容を最低2周復習しよう!

いよいよ夏期講習会が始まりました。今回は大学受験生の夏の心構えについてお話しします。高1、2年生は来年・再来年の予習として読んでいただくと幸いです。

では、本題です。厳しめに書かせていただきますので心して読んでください。大学受験生はこの夏、基礎分野が一通り終わられるようにカリキュラムを立てました。夏休み終了の8月21日までに終わらせてください。そして1学期の学習内容と合わせて、**最低2周**は復習してください。毎年秋に特訓会を行った際、明らかに1学期に習ったはずの内容を全く覚えていない生徒さんが見受けられました。そのような生徒さんは残念ながら100%第一志望校に合格しません。2学期以降は夏までの基礎を組み合わせ大学入試レベルの問題に対応する力を養成します。その時点で基礎がガタガタだとどうなるかは想像できます。大事なのもう一度言います。今の志望校に受かりたいのなら、この夏2学期までの内容を2周は復習してください。夏休みはたった1か月です。この1か月全力で取り組んでください。1か月くらい本気でやれないのなら、入試までのあと半年間なんてやれるわけないのです。逆にこの1か月をやり切れれば、今の位置にかかわらず合格が見えてきます。8月21日を楽しみにしています。頑張ってください!! (石川恵一)



小学生 考えるっておもしろい!!

くじら塾では、「算数が面白い!」「考えるって面白い!」と思ってもらえるよう、日々生徒たちと接しています。

もちろん、学校の勉強や中学受験の算数の指導はしていますが、それだけだと、子どもにとっては、「やらされる勉強」になってしまって、面白くありません。子どもが、「勉強って面白い」と感じるのは、学校では習わないことを考えた時や、逆に学校で習ったことが日常生活やほかの場面で使えと思ったときです。

面白いですね。やらされることは面白くないのに、やる、やりたい、やった、ことは、面白い。それが難しいか、簡単か、めんどくさいか、単純かなんて関係ないのです。どんなに簡単な勉強でも、やらされた瞬間に面白くない。どんなにめんどくさくて複雑な問題でも、自分でやりたいと思ったら、面白い。だから、思考力検定はみんな合格したくて一生懸命だし、特に得意な生徒は算数オリンピックまでやりたくてたまらないのです。

授業中に、私はよく、生徒に「難しく困ってる? 教えてあげようか?」と聞きます。そうすると、10回に9回は「教えなくていい!」「あっちに行って!」「絶対ヒント出さないで!」「自分で考えるから、邪魔しないで!」です。まるで、ゲームです。なかなかクリアできないステージをクリアするまでがんばっている子とそっくり。

算数が得意な子の保護者の方は、このようなやり取りをご家庭でしていることが多いようです。塾長のくじら先生は、小学校で配布されている『北海道おやこ新聞』に「親子で挑戦! 頭の体操」というコーナーを持っていますが、先日、編集長の方から「ぜひ、この楽しい算数を教えてほしい」という依頼を受けました。そこで、夏休み中に『頭の体操 親子セミナー』を開くことになりました。小学生の親子限定で、ご家庭でもっともっと算数を楽しんでもらおうという趣旨のセミナーです。「昔算数が好きだったけど、子どもにも好きになってもらいたい」と思っているお父さんやお母さんがいらっしゃいましたら、ぜひ、親子でご参加ください。お待ちしております!

(北山あさえ)



思考力検定(2015年第1回)

全員合格!!



↑おやこで算数に取り組んだ後のこの笑顔!
この中から3名が算オリの決勝へ!!

理科実験教室

7/11(土)に、白石教室で理科実験教室を行いました。たくさんの生徒が参加して大いに盛り上がりました。ありがとうございます。次回も、たくさんの参加をお待ちしています。



講師のおすすめ本!!



大池先生おすすめ!!

ホビットの冒険(上・下) 著者：J.R.R トールキン 出版社：岩波少年文庫

僕は小学5年の時にこの本を読みました。当時通っていた塾の本棚に置いてあり、授業と授業の間の休み時間に食い入るように読んでいたのを覚えています。映画で有名な「ロード オブ ザ リング」の前日譚で、先日映画にもなりました。主人公ビルボ・バギンズの「中つ国」を舞台に行われる冒険は、ドワーフやドラゴンなどが登場するファンタジーな世界にも関わらず、少し共感の持てる。不思議な物語です。この本を読んだ次は少し長いですが、「指輪物語」も読んでみましょう。その世界観にどっぷりはまってしまうこと間違いなしです。みなさん、ぜひ読んでみてください。



三幣先生おすすめ!!

フェルマーの最終定理 著者：サイモン・シン 訳：青木薫

「直角三角形において、斜辺の2乗は他の2辺の2乗の和に等しい($x^2+y^2=z^2$)」という三平方の定理はきっと誰もがご存知だろう。習った時から大学以降の学習に至るまで、我々が数学や物理、化学の問題を解くために一役買ってくれる定理であり、とてもわかりやすい定理である。三平方の定理から導かれる最もわかりやすい3:4:5の直角三角形は古代エジプトの時代には既に土地を正確に分配するために用いられていたそうだ。では2乗ではなく、3乗なら、そしてn乗なら？本書のタイトルであるフェルマーの最終定理は「 $x^n+y^n=z^n$ は $n>2$ の時には整数解を持たない」という定理である。こちらも三平方の定理同様、わかりやすく単純に見えないだろうか。だがこの定理は発表されてから証明が完了するまでの3世紀もの長い間にわたって人々を魅了し続け、悩ませ、そして時には人生を狂わせたほどの邪悪な定理なのである。17世紀フランスの偉大な数学者フェルマーが三平方の定理の指数を2から3以上に変えた。ただそれだけで三平方の定理は想像を絶するほど困難な問題に姿を変えてしまったのである。しかし数学者という人々は目の前の壁が大きいほど情熱を燃やすらしい。この定理が完全に証明されるまでの3世紀。日本人も含め数学者はこの問題を解くために数学というツールを長年かけて発展させてきた。たった1つの問題を解くために3世紀もの長きにわたって全力を尽くしてきた人々がいる。歴史に名を残した数学者ですら長年にわたって証明できなかったこの問題。この人間ドラマを知れば、数学のことをもっと好きになること間違いなし！

日	月	火	水	木	金	土
19	20 第2回難関大・有名大本番レベル模試 夏期講習開始	21	22	23	24	25
26 親子セミナー (小学生)	27	28 授業料等振替	29	30	31	8/1
2 親子セミナー (小学生)	3	4	5	6	7	8
9	10 中1・2年生道コン	11 中3小学生道コン	12	13	14	15
16 2学期通常授業 開始	17	18	19	20	21 夏期講習 終了	22
23 第3回センター 本番レベル模試	24	25	26	27	28 授業料等 振替	29
30	31	2015年7月-8月				

●8月の道コン：小3-中3

8/10 (月) 10:00~14:30 【中1・2】
 11 (火) 10:00~11:20 【小3-4】
 10:00~12:40 【小5-6】
 10:00~15:00 【中3】

※今後の道コンの予定
 【9月】9/5(土)



お知らせ

●イーストの事務室が引っ越しました。

イーストの事務室が、イーストの南教室の隣に引っ越しました。駐車場の横の入口から入ってきてください。(電話番号は変わりません)
 それに伴い、イーストの住所が変更したのでお知らせいたします。



くじら塾(株)



■学習塾パシフィック・セミナー
 札幌市白石区本郷通4丁目北8-15
 くじらビル 〒003-0025
 電話: 011-868-8808
 FAX: 011-868-8838
 電子メール: kansya@kangeki. tv

■大学受験予備校イースト

札幌市南区澄川3条2丁目4-12
 澄川駅前パーキング2F 〒005-0003
 電話: 011-832-0930
 FAX: 011-876-8622
 電子メール: east-sumikawa@future.ocn.ne.jp